

議会運営委員会の概要

1 議会運営委員会発議の意見書（案）について

- ・能登委員長から、資料「中東情勢に伴う原油価格高騰等による生活・産業への影響緩和を求める意見書（案）」により、各常任委員会でそれぞれが所管する生活・環境分野に関し「中東情勢に伴う原油価格高騰等による影響緩和」について国に意見書を提出すべしと決定され、全ての常任委員会が関連していることから、各常任委員長と文案の調整を行った旨説明があり、本委員会発議として本会議に提出することが諮られ、了承された。

2 常任委員会発議の意見書（案）について

- ・政策調査室長から、資料「軽油引取税の課税免除措置の継続を求める意見書（案）」により、意見書を発議される旨の説明があり、了承された。

3 議会運営委員会発議の決議（案）について

- ・能登委員長から、資料「山形県とアメリカ合衆国ハワイ州との姉妹県州締結に関する決議（案）」により、前回の議会運営委員会において、議長から提案があり、本委員会の発議が了承されたことから、常任委員会での議論を踏まえ文案を整理した旨説明があり、本委員会発議として本会議に提出することが諮られ、了承された。
- ・次に、「自衛隊への感謝と応援をする決議（案）」により、今定例会の予算特別委員会や常任委員会での議論を踏まえ本委員会発議で決議したい旨説明があり、本委員会発議として本会議に提出することが諮られ、了承された。

4 議員の派遣について

- ・事務局次長から、資料「議員派遣一覧表（案）」により説明があり、本会議に諮ることが了承された。

5 討論の通告について

- ・議事調査課長から、資料「発言通告書」により、自衛隊への感謝と応援をする決議に関し、関徹議員から反対討論を行いたい旨の、佐藤正胤議員から賛成討論を行いたい旨の発言通告書が提出された旨報告され、関議員、佐藤議員の順に、討論時間は各3分以内と決定された。

6 議事日程第5号について

- ・議事調査課長から、資料「会議順序表」等により、7月3日の議事日程について説明があり、了承された。

7 閉会中の委員会の開催について

- ・議事調査課長から、資料「閉会中の委員会の開催について(案)」により説明があり、

了承された。

8 その他

(1) 大学生インターンシップの受入れについて

- ・政策調査室長から、資料「大学生インターンシップの受入れについて(案)」により説明があり、了承された。

(2) 執行部からの報告事項

①アメリカ合衆国ハワイ州との姉妹県州締結式について

- ・みらい企画創造部長から、資料「アメリカ合衆国ハワイ州との姉妹県州締結式について」により説明があった。

(3) その他

【発言概要、質疑等】

(木村委員) 昨日、米沢市三沢地内の奥羽本線線路上でクマが目撃された。先月、秋田新幹線がクマと衝突した事例あったが、山形新幹線で同様のことがいつ起きてもおかしくない。抜本的に解決するには山形新幹線米沢トンネル（仮称）（以後、「米沢トンネル」という。）の整備が必要となる。米沢トンネルの整備については、令和8年2月定例会の補正予算で約7億円の債務負担行為が設定され、地質調査、測量を行うこととなったが、進捗状況はどうか。

⇒（みらい企画創造部長）債務負担行為を設定し、複数年かけて調査することとしており、現在、契約を締結して調査を始めている状況である。

(木村委員) どのような調査を行っているのか。

⇒（みらい企画創造部長）概略設計の一部を先行着手するため、測量等の調査を行っている。

(木村委員) 山形新幹線米沢トンネル（仮称）整備スキーム検討会議に、トンネル掘削のプロであるJR T T（独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構）審議役（鉄道建設技術担当）の依田淳一氏を参考人として呼び、知見を聞いていると思うが、今年の5月にお会いした際に、米沢トンネルに対し非常に興味を示しており、「すぐにも調査をしたい」とのことだった。みらい企画創造部において、率先して依田氏と意見交換をするなどし、米沢トンネルの測量・設計を前に進めて欲しい。

⇒（みらい企画創造部長）JR T Tは専門的な技術を持っているので、しっかりと連携して進めていきたいと考えている。

9 次回議運開催日時

- ・7月17日（金）午後2時と決定された。

10 本日の開議時刻

- ・直ちに開議と決定された。

議 会 運 営 委 員 会 協 議 事 項

令和8年7月3日（金）

午 前 10 時

1 議会運営委員会発議の意見書（案）について

2 常任委員会発議の意見書（案）について

3 議会運営委員会発議の決議（案）について

4 議員の派遣について

5 討論の通告について

6 議事日程第5号について

7 閉会中の委員会の開催について

8 その他

9 次回議運開催日時

7月17日（金）午後2時

10 本日の開議時刻

意 見 書 (案)

中東情勢に伴う原油価格高騰等による生活・産業への影響緩和を求める意見書

今般の中東情勢の緊迫化により、原油をはじめとするエネルギー価格や国際物流の動向が不安定化し、我が国の経済や国民生活に深刻な影響を及ぼしている。とりわけ、移動の多くを自家用車に依存する地方においては、その影響は都市部以上に大きく、住民生活や企業活動の基盤を揺るがしかねない。

さらに、地域経済を支える製造、農林水産、建設、運輸をはじめとする多くの産業や、教育、医療などの現場において、物資不足が顕在化し、事業活動に深刻な支障が生じているほか、医薬品や生活必需物資など、地域住民の生命・生活を支える重要物資の需給不安も生じている。

よって、国においては、地方の実情を十分に踏まえ、エネルギー価格高騰への対策や重要物資の安定供給、中小・小規模事業者の事業継続に向けた財政措置など、総合的かつ実効性のある対応を早急に講じることを強く要望する。

記

- 1 エネルギー供給や国際物流の動向に迅速に対応できる危機管理体制強化とともに、地方自治体や企業の適切な判断につながる迅速かつ正確な情報提供を行うこと。
- 2 石油由来製品をはじめとする物資の需給状況の可視化、正確な情報発信並びに流通の目詰まり解消を一層推進し、地域住民の不安を抑え、市場の安定を確保すること。
- 3 都市部以上に自家用車依存度が高いなど、地方特有の事情を踏まえた価格高騰の抑制策と負担軽減策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

衆 議 院 議 長	
参 議 院 議 長	
内 閣 総 理 大 臣	
外 務 大 臣	
財 務 大 臣	
文 部 科 学 大 臣	あて
厚 生 労 働 大 臣	
農 林 水 産 大 臣	
国 土 交 通 大 臣	
経 済 産 業 大 臣	
内 閣 官 房 長 官	

山形県議会議長 田 澤 伸 一

以上、発議する。

令和 年 月 日

提 出 者 山形県議会議会運営委員長 能 登 淳 一

意見書(案)

軽油引取税の課税免除措置の継続を求める意見書

冬季観光の重要な柱であるスキー場関連産業の発展にこれまで貢献してきた軽油引取税の課税免除制度は、令和9年3月末までの時限措置となっている。

軽油引取税の課税免除措置は、道路の利用に直接関連しない機械等に使われる軽油を対象として、本県の基盤産業である農林水産業のみならず、索道、船舶、鉄道、製造業など幅広い事業において認められてきたところである。

スキー場関連産業では、スキー場の運営にあたって索道事業者が使用するゲレンデ整備車、降雪機等に使う軽油が課税免除措置の対象となっており、この措置が廃止されれば経営が圧迫され、ひいては地域の観光振興及び経済に悪影響を及ぼすことが懸念される。

よって、国においては、令和9年4月以降も軽油引取税の課税免除措置を継続するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣 াতে
財務大臣
経済産業大臣
国土交通大臣

山形県議会議長 田澤 伸一

以上、発議する。

令和 年 月 日

提出者 山形県議会総務常任委員長 遠藤 和典

決 議（案）

山形県とアメリカ合衆国ハワイ州との姉妹県州締結に関する決議

県民一人ひとりが真の豊かさと幸せを実感し、将来への明るい展望を描ける活力に満ちた社会の実現を目指す本県にとって、欧米をはじめとする各国との交流を促進し、交流人口拡大を通して経済的、文化的つながりを強め、相互に持続的な発展を遂げていくことが重要である。

そのような中であって、ハワイには、150年以上前から多くの日本人が移り住み、現地の産業発展や地域振興に寄与してきた歴史があり、日本にとってハワイは深い関わりのある地域である。

この度の本県とハワイ州との姉妹県州の締結は、両県州の教育、観光、文化、産業等の多様な交流を促進するものであり、これまで築いてきた友好親善をより一層深めるとともに、両県州のさらなる発展に寄与するものと確信する。

よって、本県議会は、県民の理解と協力のもとに、世界に開かれた活力ある県土づくりと、日米両国の友好親善、さらには世界平和と繁栄に資するため、ハワイ州との姉妹県州の締結を積極的に促進するものである。

以上、決議する。

令和 年 月 日

山 形 県 議 会

以上、発議する。

令和 年 月 日

提 出 者 山形県議会議会運営委員長 能 登 淳 一

決 議 (案)

自衛隊への感謝と応援をする決議

我が国の平和と安全を維持し、国民の生命・財産を守るため、日夜任務に邁進されている自衛隊員とその家族に対し、心からの敬意と感謝の意を表する。

自衛隊の最大の任務は、我が国の防衛と公共の安寧を守ることであり、尊い職責を担っている。

その自衛隊の存在は、私たちが平穏な日常生活を営む上での揺るぎない礎である。特に、近年の激甚化する自然災害において、自衛隊が果たす役割は極めて大きい。豪雪や豪雨、地震など、本県が度重なる災害に見舞われた際、自衛隊がいち早く現場に駆けつけ、過酷な環境をもちとわず展開された救助活動や復旧支援は、被災した県民の心に大きな希望の灯をともした。危険を顧みず、一人でも多くの人々を救おうとするその献身的な姿に、私たちは深い感動と、言葉に尽くせぬ感謝の念を抱くものである。

しかしながら、これほどまでに国民・県民の安全に寄与し、国を支えている自衛隊が、日々の生活においてその崇高な職責にふさわしい敬意を一身に集めているかといえ、必ずしもそうとは言えない。

彼らが職務の象徴である制服を身にまとい街を歩く姿は、社会の安全の証であり、私たちが誇りとすべきものである。そしてその堂々とした制服姿こそが、次代を担う子ども達にとって、あこがれの存在でなければならない。自衛官が、いかなる時もその制服を誇らしく着用し、子ども達や地域社会から敬意と感謝の眼差しを受けながら堂々と歩むことができる社会こそが、健全な姿であると確信する。

ここに、自衛隊のこれまでの多大なる貢献に対し深甚なる感謝の意を表するとともに、自衛隊員の一人ひとりが不当な偏見にさらされることなく、その尊い使命にふさわしい敬意が払われる社会環境の醸成を目指す。

私たちは、自衛隊員とその家族を温かく迎え入れ、支え、誇りに思う精神が、この山形の地から広く世の中に広がっていくことを強く願い、全力を尽くして応援するものである。

以上、決議する。

令和 年 月 日

山 形 県 議 会

以上、発議する。

令和 年 月 日

提 出 者 山形県議会議会運営委員長 能 登 淳 一

議員派遣一覧表(案)

令和8年7月3日

番号	内 容
72	新庄志誠館高等学校生徒と県議会議員との意見交換会 (1) 目 的 上記の意見交換会に出席するため (2) 場 所 新庄市 (3) 期 間 令和8年7月7日(火) (4) 議 員 名 石川渉、松井愛、高橋弓嗣、能登淳一、渋間佳寿美
73	コロラド州姉妹県州締結40周年記念事業及びハワイ州との交流 (1) 目 的 コロラド州姉妹県州締結40周年の節目にあたり、州政府や州議会の表敬訪問及び記念レセプションに出席するため あわせて、ハワイ州政府及び議会関係者との意見交換を行うため (2) 場 所 アメリカ合衆国コロラド州及びハワイ州 (3) 期 間 令和8年7月26日(日)から8月1日(土)まで (4) 議 員 名 矢吹栄修、小松伸也、高橋啓介
74	女性・若者と県議会議員との意見交換会 (1) 目 的 上記の意見交換会に出席するため (2) 場 所 酒田市 (3) 期 間 令和8年8月5日(水) (4) 議 員 名 佐藤寿、阿部恭平、鈴木学、佐藤文一
75	女性議員研究交流大会 (1) 目 的 全国都道府県議会議長会が主催する上記の大会に出席するため (2) 場 所 東京都 (3) 期 間 令和8年8月25日(火) (4) 議 員 名 橋本彩子、松井愛、伊藤香織
76	第151回北海道・東北六県議会議長会議 (1) 目 的 北海道・東北六県議会議長会が主催する上記の会議に出席するため (2) 場 所 福島県 (3) 期 間 令和8年8月25日(火) (4) 議 員 名 渋間佳寿美
77	令和8年度北海道・東北六県議会議員研究交流大会 (1) 目 的 北海道・東北六県議会議長会が主催する上記の大会に出席するため (2) 場 所 福島県 (3) 期 間 令和8年8月26日(水) (4) 議 員 名 石川渉、佐藤寿、橋本彩子、松井愛、石川正志、小松正和、江口暢子、相田日出夫、佐藤正胤、相田光照、遠藤和典、五十嵐智洋、奥山誠治、伊藤重成、舩山現人
78	小国高等学校生徒と県議会議員との意見交換会 (1) 目 的 上記の意見交換会に出席するため (2) 場 所 小国町 (3) 期 間 令和8年9月10日(木) (4) 議 員 名 橋本彩子、小松正和、伊藤香織、相田光照、渋間佳寿美

2026年 7月 3日

山形県議会議長 田澤 伸一 殿

山形県議会議員 関 徹

発 言 通 告 書

今回の県議会において、次のとおり発言したいので通告します。

発言の種別	質疑 ・ 代表質問 ・ 一般質問 ・ 緊急質問 ・ 討 論 ・ 一身上の弁明	
発 言 の 要 旨 (討論の場合は反対、賛成の別を記載すること)		答 弁 者
< 発言の趣旨 > 「自衛隊への感謝と応援をする決議」案に反対。 決議案の内容が、自衛隊の災害時の救助・復旧活動のみを取り上げて、軍事的役割への疑問の声を一方的に否定するものであると共に、「憧れ」「敬意」という感情を押し付けて、憲法19条思想・良心の自由を侵害するものである事から。 以上		

令和 8 年 7 月 3 日

山形県議会議長 田 澤 伸 一 殿

山形県議会議員 佐 藤 正 胤

発 言 通 告 書

今回の県議会において、次のとおり発言したいので通告します。

発言の種別	質疑 ・ 代表質問 ・ 一般質問 ・ 緊急質問 ・ 討 論 ・ 一身上の弁明
発 言 の 要 旨 (討論の場合は反対、賛成の別を記載すること)	答 弁 者
「自衛隊への感謝と応援をする決議」に対しての賛成討論 自衛隊のこれまでの多大なる貢献に対し、深甚なる感謝の意を表するとともに、自衛隊員の一人ひとりが不当な偏見にさらされることなく、その尊い使命にふさわしい敬意が払われる社会環境の醸成を目指すとともに、県民が自衛隊員とその家族を温かく迎え入れ、支え、誇りに思う精神が、この山形の地から広く世の中に広がっていくことを強く願い、「自衛隊への感謝と応援をする決議」に賛成の立場で討論するもの。	

会 議 順 序 表

[議事日程第 5 号]

令和 8 年 7 月 3 日 (金)

	会 議 ・ 議 事 順 序	採決方法
1	○ 議会運営委員会 (議事日程第 5 号、その他)	
2	< 開 議 > ○ 議案及び請願上程 (議第 6 9 号から議第 9 1 号までの 2 3 件及び請願) ○ 常任委員長報告 文 教 公 安 常任委員長 厚 生 環 境 常任委員長 農 林 水 産 常任委員長 商 工 労 働 観 光 常任委員長 建 設 常任委員長 総 務 常任委員長 ○ 議案採決 (議第 6 9 号から議第 9 1 号までの 2 3 議案) ○ 請願採決	簡 易 簡 易
3	○ 意見書案上程・採決 (発議第 1 2 号及び発議第 1 3 号の 2 件)	簡 易
4	○ 決議案上程・提出者説明 (発議第 1 4 号及び発議第 1 5 号の 2 件) 議会運営委員長 能 登 淳 一 議員 ○ 討論 1 1 番 関 徹 議員 1 9 番 佐 藤 正 胤 議員 ○ 採決 (1) 発議第 1 5 号 (2) 発議第 1 4 号	起 立 簡 易
5	○ 議員の派遣について上程・採決 < 閉 会 >	簡 易

議 事 日 程 （ 第 5 号 ）

令和8年7月3日（金） 午前10時開議

- | | | |
|------|-----------|--|
| 第 1 | 議第69号 | 令和8年度山形県一般会計補正予算（第2号） |
| 第 2 | 議第70号 | 令和8年度山形県水道用水供給事業会計補正予算（第1号） |
| 第 3 | 議第71号 | 山形県職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| 第 4 | 議第72号 | 山形県知事等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| 第 5 | 議第73号 | 山形県新型コロナウイルス感染症・物価高騰対応地方創生臨時基金条例の一部を改正する条例の制定について |
| 第 6 | 議第74号 | 山形県県税条例の一部を改正する条例の制定について |
| 第 7 | 議第75号 | 山形県地方活力向上地域における県税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| 第 8 | 議第76号 | 山形県個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| 第 9 | 議第77号 | 山形県防災基本条例の一部を改正する条例の制定について |
| 第 10 | 議第78号 | 山形県幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について |
| 第 11 | 議第79号 | 庄内海岸林応援基金条例の設定について |
| 第 12 | 議第80号 | 山形県県立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について |
| 第 13 | 議第81号 | 山形県公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について |
| 第 14 | 議第82号 | 山形県病院事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の設定について |
| 第 15 | 議第83号 | 山形県漁業監視調査船代船建造工事請負契約の締結について |
| 第 16 | 議第84号 | 一般県道余目松山線道路施設長寿命化対策事業庄内橋桁製作架設工事請負契約の一部変更について |
| 第 17 | 議第85号 | 交通事故に基づき生じた損害賠償の和解について |
| 第 18 | 議第86号 | 山形県公立大学法人定款の一部変更について |
| 第 19 | 議第87号 | 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所及び同社福島第二原子力発電所の事故に基づき生じた損害賠償の和解のあっせんの申立てについて |
| 第 20 | 議第88号 | 令和7年度山形県一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認について |
| 第 21 | 議第89号 | 令和8年度山形県一般会計補正予算（第1号）の専決処分の承認について |
| 第 22 | 議第90号 | 山形県県税条例等の一部を改正する条例の設定についての専決処分の承認について |
| 第 23 | 議第91号 | 公立大学法人東北公益文科大学が徴収する料金の上限の認可についての専決処分の承認について |
| 第 24 | 請願 | |
| 第 25 | 発議第12号 | 中東情勢に伴う原油価格高騰等による生活・産業への影響緩和を求める意見書 |
| 第 26 | 発議第13号 | 軽油引取税の課税免除措置の継続を求める意見書 |
| 第 27 | 発議第14号 | 山形県とアメリカ合衆国ハワイ州との姉妹県州締結に関する決議 |
| 第 28 | 発議第15号 | 自衛隊への感謝と応援をする決議 |
| 第 29 | 議員の派遣について | |

請 願 審 査 結 果 一 覧 表

令和8年6月定例会

区分	番号	受 理 年月日	関 係 委員会	件 名	提 出 者	紹 介 議 員	審査 結果	措置
請 願	39	8.6.9	総 務	免税軽油制度の継続を求める意見書の提出について	山形市蔵王温泉字土合790-1 東北索道協会山形地区部会 部会長 岡崎 彌平治	阿部（恭）、佐藤（文）、 佐藤（正）、奥山	採択	意見書 提 出
〃	40	8.6.16	商工労働観光	山形地方最低賃金の改善を求める請願について	山形市木の実町12番37号 日本労働組合総連合会山形県連合会 会長 渡部 貴之	今野、高橋（淳）、青木、 吉村、高橋（啓）	継続 審査	

付 託 委 員 会	件 数	審 査 結 果			
		採 択	不採択	継続審査	撤 回
総 務	1	1			
商工労働観光	1			1	
計	2	1		1	

継 続 審 査 請 願 審 査 結 果 一 覧 表

令和8年6月定例会

区 分	番 号	受 理 年月日	関 係 委員会	件 名	提 出 者	紹 介 議 員	審査 結果	措置
請 願	31	7.9.19	総 務	「核兵器禁止条約の署名・批准と締約国会議へのオブザーバー参加を求める意見書」を提出することを求める請願	鶴岡市宝田一丁目3-23 生活協同組合共立社 理事長 渡邊 一弥	石川（渉）、関	継続 審査	
〃	36	8.2.18	厚 生 環 境	国に対し「消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬などOTC類似薬の追加負担を行わないことを求める意見書」の提出を求める請願	山形市飯田西1-2-30 山形県社会保障推進協議会 会長 中島 幸裕	石川（渉）、関	継続 審査	

付 託 委 員 会	件 数	審 査 結 果			
		採 択	不採択	継続審査	撤 回
総 務	1			1	
厚 生 環 境	1			1	
計	2			2	

閉会中の委員会の開催について（案）

委 員 会	日 時
常任委員会	8 月 1 9 日（水） 午前 1 0 時
3 特別委員会	8 月 2 0 日（木） 午前 1 0 時

大学生インターンシップの受入れについて（案）

「山形県議会と国立大学法人山形大学との相互協力に関する協定書」に基づき、次のとおり、学生のインターンシップを受け入れる。

1 受入期間 令和8年8月17日（月）～21日（金）

2 受入学生 1名

（山形大学 地域教育文化学部 地域教育文化学科 3年）

3 主な内容 ○委員会書記業務補助

○議会広報業務

○その他政策調査関係業務

令和8年7月3日
みらい企画創造部

アメリカ合衆国ハワイ州との姉妹県州締結式について

1 日 時

令和8年7月30日（木）午後6時から（現地時間）

※日本時間7月31日（金）午後1時から

2 場 所

アメリカ合衆国ハワイ州ホノルル市内

3 出席者

- ・山形県：訪問団約20名（吉村知事など）
- ・ハワイ州：政財界人、主要団体、ハワイ山形県人会など

4 内 容（締結式・記念レセプション）

- ・締結調印
- ・記念品交換
- ・記念レセプション
- ・山形県PRプロモーション 等

※詳細は、調整中